

## 偽術の毒

※

### [成功度 MATRIX]

- ① アクセルのみ（明らかな困難にも突っ込んで行き玉砕するためほとんど成功しない）
- ② アクセルの踏み込みが強く、ブレーキが効く（かなり成功する）
- ③ アクセルの踏み込みが弱く、ブレーキが強い（ときどき成功）
- ④ ブレーキのみ（ほとんど成功しない）
- ⑤ ブラック・ホール（乳幼児 自分で何も出来ず吸収のみ）

※※

運のいい人は、夏に夏の行動、冬に冬の行動を取る。運の悪い人は、夏に冬の行動、冬に夏の行動を取る。

さて、六星占術の全体的中しない事例を、最近目撃してしまいました。本当に気の毒で、かける言葉も見つかりません。健弱でも大殺界・中殺界でもない吉の年月に発病したのです。

子平では、説明できる時期でした。奇門命理では、山地剝の年運ですが、真伝でないと出ません。

こう申しましても、六星占術のみを攻撃する趣旨ではございません。

一般に普及している三合派で判断して何でもことを計画する人が非常に多いのですが、開運せず、むしろ段々運気を悪化させている事例が昔から多く、時代とともに一向に減りません。

個人的経験からの例で恐縮ですが、私（菅原光雲）が20代の頃学んだ某師は、奇門遁甲が隆盛して来た今日では気学が減びるのは時間の問題だとおっしゃっていました。師は三合・三元を明確に標語化して説明していませんでしたが、事実上、奇門遁甲は三元派、気学は三合派と区分し、後者を偽伝としていました。

**命運の悪い人は偽術の毒を食いやすく、真伝に出会うのが遅れやすい。**これは共通する傾向です。一般書はほとんど三合派ですし、たまに三元派があっても舌足らずのため実用に十分でなく、結局運命学的開運は難しい、と嘆かせることになります。

授業等で教えるのもほとんどが三合派ですので、命運的にもかなり力のある方でないと三元派を「学ぶ」のは容易でなく、大げさでも何でもなく、行き着く前に多くは「倒れる」ことになります。

偽術の毒を多く食った人の特徴はいくつかあり、15分も話をすればわかりますし、メールでもわかります。

偽術の毒とはどういうことか、具体的に申しますと、喩えてみると「凶の時期に吉の行動をしてしまう」ということです。これでは良い結果が出るはずはありません。

偽術はしばしば吉凶を逆に判定して出しますから、用いる人の行動に狂いを生じさせ、命運を悪化させます。

だから恐ろしいと申し上げているのです。